



ほけんだより

社会福祉法人 智雲山福祉会 こがね保育園 令和 2年 1月 31日発行

1年をふり返ってみましょう！

3月はまとめの時期です。1年間の生活の様子をふり返ってみましょう。就学や進級に向けて、きちんとできていること、できていないことを親子で確認して、できるようにしておきましょう。

できるようになったものに0をつけましょう



話を聞く力を育むために



子どもには、人の話をきちんと聞けるようになってほしいと感じている保護者の方も多いかと思いますが。子どもたちは、日頃から大人の姿を見ているものです。まずは、周りの大人が子どもの話を聞いてあげて、話を聞いてもらうことの嬉しさを体験させるようにしてはいかがでしょうか。



話を聞く力を育むために必要なのは、自分が話を聞いてもらえた嬉しさや安心感などを体験することです。それが、人の話を聞くという姿につながります。まずは、大人が子どもの話をゆっくり聞き、思いを受け止めてあげることが大切です。子どもが話しかけてきた時は、ていねいに話を聞きましょう。話をよく聞いてもらうことができると子どもの心も満たされます。

子どもが話しかけてきた時に、家事などの途中で、すぐに対応できない場合もあります。そんな時は「あちいってて」などではなく、「洗濯物干しているから終わったらすぐに聞くね。少し待っててね」などと子どもに伝えます。ゆったりとした気持ちで話を聞くことができる状況を整えましょう。

乳児は、言葉で気持ちを表現することはできませんが、それでも大人は子どもに話しかけ、子どもの気持ちを察して言葉で表現してあげましょう。そうすることで、言葉を覚える基礎になり、気持ちに伝えてくれて、嬉しいという体験にもつながります。



話を聞く力を育む



話を聞く力を育む



しっかりと



耳を傾けます



昨年12月から新型肺炎（コロナウイルス）が流行しはじめ、頻繁にニュース等でとりあげられています。感染は、主に「飛沫感染」と「接触感染」が考えられています。インフルエンザと同じように「こまめな手洗い」「うがい」「人混みでのマスク着用」、それに睡眠と食事を十分にとる「体調管理」など、予防対策を行うようにしましょう。



※ 日常生活でできる予防対策です。